

ハイライトよねやま 70

(財)ロータリー米山記念奨学会

2005年12月13日発行

1. 寄付金速報 ～ 今月も更に前年度比増加です！

11月までの寄付金は、前年同期と比べ8.7%増、約5千5百万円の増加でした。普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が13.6%増です。先月号で、今年度の寄付金が10年ぶりに好調であるとのご報告をいたしました。今月も引き続き、嬉しい結果となりました。

特に特別寄付金の増加が著しく、創立記念寄付は前年と比べて330万円の増加。100万円以上納めていただいた高額寄付クラブは24クラブあり、約2千万円増加しました。高額寄付クラブの多くはクラブ会員から少額ずつ(1～3万円)積み立て、100万円を超える寄付を集めています。本年の皆さまのご努力に感謝申し上げますとともに、来年も米山奨学会へご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

2. RI会長代理よりご寄付をいただきました

第2840地区(群馬)の2005-06年度地区大会でRI会長代理をつとめた金泰麟氏(第3640地区パストガバナー/ソウル永登浦RC)より、地区大会の記念として、米山奨学会へ20万円のご寄付をいただきました。

同氏は1996年にも第2810地区(現2520地区)で30万円のご寄付をされており、このたび、第5回米山功労者 マルチプルとして感謝状をお贈りいたしました。御礼申し上げます。



3. 陶芸家の米山学友、張義明さんの個展が開催されました



和歌山県・龍神村で活躍する陶芸家の米山学友、張義明ツァンイーミンさんの個展が11月3日～14日、東京・杉並区のギャラリーで開かれ、開催期間中のべ300人ほどが訪れました。『Talk to』と題された今回の個展のために用意した作品は100以上。その独特な形状と、作品の調和が醸し出す不思議な空間に、多くの人が感嘆の声を漏らしました。

「酷い事件や天災、終わらぬ戦争……。今の世界をみていて、人間は“原点”に戻る必要があると感じたのです。本当に必要なものは何か、静かに考えてほしい。今回の作品はそうした祈りを込めて作りました」

張さんの作品は、遠くから観賞するのではなく、手で触れ、位置を変え、見る人が自由に楽しむスタイルです。花器の穴に向かって叫び、声

を反響させて笑う小学生。“うちのショーウィンドウにいいね”と、手にとって眺める鰻屋の店主。20畳ほどのスペースに飾られた作品を、1時間以上かけて楽しむ人もいました。こうした来場者一人ひとりに張さんは温かい声をかけます。

「すべての“出会い”を大切にしたい。土との出会いがあって生まれた作品たち、今回この個展を開くことができたギャラリーとの出会い。そして作品を通じてたくさんの人と出会う。それ以上に幸せなことは何もないです」

「ただ、今回の個展でロータリアンにお会いできなかったことが残念でした。ロータリーとの出会いで今の自分があるのだと、ロータリアンの皆さんに直接お礼を言いたかったから」

来年は、陶芸を始めて10年。張さんの原点、台湾での個展開催が決定しています。



4. 台湾学友会総会が開催されます

海外にある米山学友会の一つ、中華民国扶輪米山会（台湾学友会）の総会が、今年も12月17日・18日に台北市で開催されます。

米山奨学会では今年度の広報活動の一環として、海外広報を計画しています。これまで、米山奨学会の広報は、母体である日本のロータリーへの訴求が中心でした。しかしそれと同時に、今後は、米山奨学事業がロータリーの目標に沿った世界平和に資する事業であることを、海外へアピールしていくことも必要であるとの認識が高まっています。これを受けた事案が広報委員会で提案され、海外広報の実施に向けて動き始めることになりました。

広報の対象国は台湾・韓国が予定されています。対台湾広報は台湾学友会が中心となり、この総会では宮崎幸雄専務理事とともに、利用媒体や掲載内容など具体的な計画案を策定することになっています。

5. 地区大会における米山奨学生・学友の活躍【2】 ～ 並行プログラムから本会議へ！

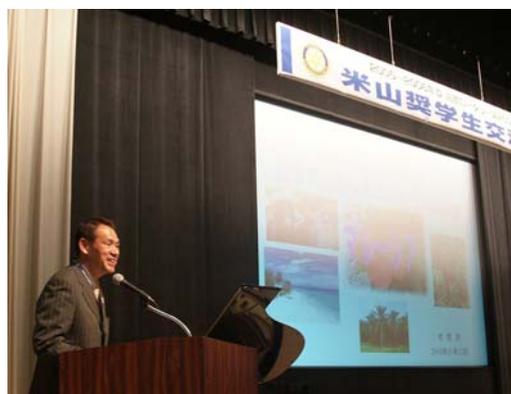
今年3回目を迎えた第2500地区（北海道東部）地区大会の並行プログラム“米山奨学生とロータリアンの集い”が10月22日に開催されました。当地区の北川健二米山奨学委員長が「一人でも多くのロータリアンに、米山奨学生を通して米山奨学事業を感じてほしい」と、3年前に立ち上げたプログラムです。

今回は8人の米山奨学生がそれぞれパワーポイントを使って発表しました。「焼肉の国、韓国の畜産業」といった母国の文化紹介のほか、「繁栄の陰にある中国の貧困と教育」「モンゴル自治区の急激な砂漠化」

など、母国が抱えるさまざまな問題を掘り下げたものもあり、聞く者の胸に響く発表でした。

毎年好評を博しているものの、地区大会本会議のプログラムではないため、時間や会場の設定、参加者の動員には毎年大変な苦勞がありました。しかし今大会後、地区大会幹事とガバナーエレクトが、次年度の本会議プログラムに組み込むよう働きかけてくれたのです。

来年の地区大会では、参加者全員が米山奨学生の発表に耳を傾けてくれることでしょう。



挨拶をする北川委員長

重要なお知らせ

ロータリー米山記念奨学会への特別寄付金に対しては、**税法上の優遇措置（寄付金控除）**が受けられます。1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブにお送りします。

来年の確定申告は、**12月30日（金）までに入金されたご寄付が対象です。**

年末年始の休業について

米山奨学会事務局は、年末年始は12月28日（水）～1月5日（木）の間休業となります。

来年は1月6日（金）より通常業務となりますので、よろしく願いいたします。



**今年も一年間
ありがとうございました**

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/